

創立142周年



学校だより は え 南風の子

中種子町立 南界小学校

平成27年8月3日(月)発行

「時間の貯金はできないけれど・・・」

校長 岡留 祐宏

夏休みがスタートして2週間が経ちました。早朝の心地良さも束の間、強い陽射しにたちまち汗ばむ毎日です。今日は1回目の出校日でした。子どもたちも元気に登校してきました。ラジオ体操を続けている子どももいるようです。生活のリズムを崩さずに、元気にこの夏を過ごしてほしいと思います。

全国では、子どもたちの水の事故や交通事故が報道されています。校区内では、水難事故防止の巡回指導をはじめ、家庭や地域のご協力をいただいています。おかげさまで、子どもたちの事故は発生していませんが、子どもたちには「自分の命は、まず自分で守る」ことの必要性を話したところです。

さて、この2週間でどのように過ごしてきたでしょうか。子どもの頃は、夏休みに入る前は「あれをしよう。これもやりたい」と、期待でわくわくしてしまいました。自分の裁量で使えるお小遣いをたっぷりもらったような感じです。お小遣いなら、使わずに貯めておくという考えもできるでしょうが、時間はそうはいきません。夏休みを何度も過ごすうちに、子ども心にも、「何かをやっても、何もやらなくても、時間は確実に減っていく」という、実に当たり前のことに気付かされました。自分で意識して時間を使ったという実感が乏しいほど、いつの間にか時間が消えてしまったという喪失感が強いように思います。

時間の貯金はできませんが、子どもたちには、過ぎていった時間の代わりに、たくさんの思い出や時間をかけて取り組んだいろいろな作品、あるいは、何かができるようになった自分自身というように、別の形で蓄えを残してほしいと思います。



プールもにぎやか。監視ありがとうございました。

頑丈なヘチマ棚ができました 鹿児島仮設さん ありがとうございます

4年の理科では、ヘチマを育てて観察する学習をします。毎年、細い支柱を組み合わせてヘチマ棚を作っていましたが、毎年、作り直さなくてもいいように、今年、鋼管を使って頑丈な棚を設置することにしました。



材料の鋼管は、ありがたいことに、株式会社鹿児島仮設機械種子島営業所の戸川所長さんのご厚意で、無償でいただきました。早速、職員作業で写真のようなヘチマ棚を作ったところです。台風の風にもびくともせず、今、ヘチマが元気よく育っています。

「めっかりもうさん」の皆さん 雑巾・お手玉 ありがとうございます

先日、特定非営利活動法人「めっかりもうさん」の代表者の岩坪博秀さんが、学校に訪ねて来られました。グループの皆さんで作られた雑巾とお手玉をいただいたところです。

雑巾は、日々なくてはならない必需品です。毎日、使っていると消耗も早いので、本当にありがたいです。

2学期には、運動会や町民体育大会に向けて、玉入れ競技の練習も始まりますので、有効に使わせていただきたいと思います。練習、頑張りたいと思います。

